



物質化学工学科5年 大西 悟

今年の3月をもって卒業するにあたり、私が過ごしてきた5年間を思い返してみると、非常に多くの方々を支えられてきたのだということを実感します。各学年のクラス担任としてお世話をしてくださったり、進路や実験、勉強など様々な相談や質問に応じてくださった先生方、部活や研究室に入ったばかりでわからないことだらけだった私に懇切丁寧に指導してくださった先輩方、そして毎日温かく見守ってくれた両親にも支えられ、私の高専生活はとても充実したものとなりました。そしてそれと同時に、たくさんの貴重な体験や思い出もできました。インターシップでは実際の社会がどのようなもので、何が大切なのかということを知ることができましたし、委員会や部活(私は生協学生同好会に所属していました)では、学校のために何ができるか、また何をすべきかについて真剣に取り組むことができました。これらの経験の中には、他の学校では決してできなかったであろうものも数多く含まれているのではないかと思います。こうしたことを考えると、私は奈良高専という学校



5Cクラスメイト達

に入学して本当に良かったと実感します。そして、現在この学校に在籍している皆様は、ぜひ今しかできないことに積極的に取り組んで、有意義な5年間にして欲しいと思います。また、最後になりましたが、在学中お世話になった方々にこの場をお借りして感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



5Cクラスメイト達

物質化学工学科5年学級担任 亀井 稔之

卒業おめでとうございます。5年前の入学式の時と比べて大きく成長した皆さんを送ることは、本当に感慨深いものがあります。5年間、勉強、部活、卒業研究、全力で走りきることができたでしょうか。4月からはそれぞれ違う道を進みます。嬉しいこと悲しいことたくさんあると思いますが、全力で物事にあたってください。失敗してもきっと人生の財産となるはずです。一度しかない人生が幸せに過ごせることを祈っています。



専攻科 修了おめでとう

機械制御工学専攻2年 大内 紳司

高専生活の七年間のうちで、専攻科の二年間が一番苦勞した期間でした。元々、「研究って何だろー?」というのが、僕の本科時代での印象でした。そんな中、専攻科に入学し研究生生活が始まりました。研究は本科と比べて更に論理的思考やプレゼン能力などが求められるようになり、成果を上げるのに大変しんどい思いをしました。特に、研究を進める過程においては、何度も道に迷い挫折を味わいました。そんな中、学会発表などを通してここで得た苦い経験は、将来なんらかの形で必ず役に立つと考えています。そして、これからの世の中に貢献して行きたいです。

電子情報工学専攻2年 福岡 久和

専攻科2年間はあっという間に過ぎました。授業ではより専門的な技術を学べました。特に、外部講師による特許の授業は専門的な授業と異なり新鮮でした。ちょうど放映されていた「下町ロケット」を織り交ぜ分かりやすい授業だった印象があります。また、研究は学生と指導教



員との議論により自身の知識が深まり、考え方も磨きが掛かりました。発表や論文執筆は入学当時からレポート作成が苦手でした。しかし、先生方の指導や友人の支えもあり乗り越えられました。他にも学内の友人たちとアプリ開発を行い忙しい学生生活でしたが、良い経験ができました。

化学工学専攻2年 近山 友梨

7年間通った高専生活もとうとう終わりを迎えました。長い高専生活になると思いきや、本当にあっという間でした。専攻科に入学してからは毎日が研究のことで頭がいっぱいで、何度PCと仲良く夜更かしたのでしょうか。うまく研究が進まずやるせない気持ちになったことは何度もありました。それでも手を止めず考えることを止めず、仲間たちと共に切磋琢磨し研究に一生懸命取り組んできたことは私にとってかけがえのない経験です。また、専攻科に入学後は他専攻の学生との交流が増え、異分野の重要性を学べるいい機会となりました。この奈良高専の専攻科生として修了できることを誇りに思います。

専攻科長 藤田 直幸

専攻科修了おめでとうございます。7年間の奈良高専生活で、様々な経験があったと思います。楽しくうれしい経験ばかりではなく、苦く苦しい経験もあったかもしれませんが、それら一つ一つが奈良高専で皆さんが得た財産です。きっとこの7年間で皆さんは成長したはずですよ。次のステージでも、この経験を思う存分発揮して、さらなる飛躍をされることでしょう。皆さんが日本を支える技術者・研究者として活躍されることを期待しています。

